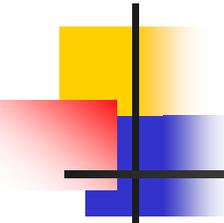


# 成分調整成形堆肥の生産・利用技術



成分調整堆肥研究グループ



## 家畜ふん堆肥の利用上の問題点

---

- 畜産農家でのふん尿過剰、環境汚染
- 耕種農家の堆肥利用の減少

良質堆肥が手に入らない

化学肥料の利用に比べ

散布労力がかかる(堆肥散布労力がない)

肥効の予測が困難で管理が大変

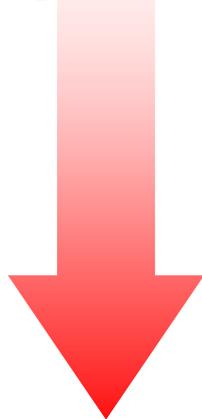
コストがかかる



## 堆肥利用の拡大には

---

- 耕種農家でも容易に利用できるもの
- 使いやすく、流通しやすいもの



成分調整成形堆肥の生産・利用技術の開発

# 成分調整成型堆肥の特徴

- 耕種農家の手持ちの機械で散布可能



# 成分調整成型堆肥の特徴

- 従来型の堆肥に比べて重量、容積は半分  
堆肥貯蔵スペースの節減  
輸送コスト・散布労力が半減



直径5mmの成形堆肥



# 成分調整成型堆肥の特徴

化学肥料感覚で使える堆肥

減化学肥料栽培が容易にできる



大豆



トマト



キャベツ

などで実証済み



## 従来型堆肥とのコスト比較

---

- **小袋入り堆肥(40L)**  
成分調整成型堆肥の方が安価
- **フレコン入り堆肥(1m<sup>3</sup>)**  
ほぼ同等の金額
- **バラ堆肥**  
輸送距離100km以上で成型が有利
- **ハウス内施用の場合**  
成分調整成型堆肥の方が有利



## 利用者からの声

---

- 取り扱いやすくネギの追肥などにも使える。  
味が良く品質の良いものができる
- 販売競争に勝ち抜くために成分調整成型  
堆肥の製造設備を導入する
- 良質堆肥の生産だけでは流通に限界がある  
ので、新たな販路拡大のために成分調  
整成型堆肥の生産設備を導入する